第 22 回　河川財団 研究発表会

―持続的な河川管理への挑戦！―

日時　令和 6 年 10 月 31 日（木）13:00～17:30　12:30 受付開始

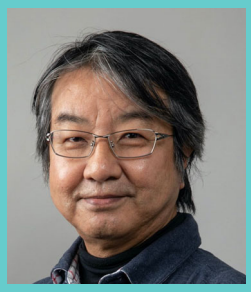
会場　一橋大学 一橋講堂

東京都千代田区一ツ橋 2-1-1
都営新宿線・三田線 東京メトロ半蔵門線 神保町駅 A 8 ・A 9 出口 徒歩 4 分
東京メトロ東西線 竹橋駅（1 b 出口）徒歩 4 分

本研究発表会は、河川管理に資することを目的に河川財団で実施している、最新の研究内容について発表するものです。今回は、特別講演として東北大学の占部城太郎名誉教授（研究分野：水陸学・生態学）をお招きして開催いたします。また、発表内容についての議論を深める場として、意見交換会を設けております。皆様のお越しをお待ちしております。

本発表会は、土木学会 CPD 認定プログラムです。

特　別　講　演



ネーチャー・ポジティブの背景と河川管理

東北大学　名誉教授　占部 城太郎

講演者プロフィール

うらべ じょうたろう
占部 城太郎

東北大学名誉教授（生命科学学術研究員）、横浜国立大学客員教授。理学博士。
千葉県立中央博物館、都立大学理学部助手、ミネソタ大学生態行動進化学科客員研究員、京都大学生態学研究センター助教授、東北大学生命科学研究科教授を経て現在に至る。
専門は陸水学・生態学。応用生態学会長、日本陸水学会会長、日本生態学会会長、JSPS 学術システム研究センター専門研究員等を歴任。北米海洋陸水学会フェロー。
主な著・訳書に「地球環境と生態系」、「湖の科学」、「湖沼近過去調査法」など。

プログラム

13:00	開会・主催者挨拶	理事長　小俣　篤
13:10	特別講演	東北大学　名誉教授　占部　城太郎
14:20	休憩	
14:30	研究発表の解説	河川総合研究所　所長　天野　邦彦
14:45	河川財団における河道管理に向けた取り組み	河川総合研究所　研究員　守屋　博貴
15:10	堰の湛水区間における再堆積・再繁茂を抑制する河道掘削形状の評価	河川総合研究所　研究員　滝沢　友吾
15:35	流域データプラットフォームがもたらす河川管理の変革	河川総合研究所　研究員　森永　泰司
16:00	休憩	
16:10	堤防植生管理の一手法としてのこまめ除草の導入と評価	河川総合研究所　研究員　猪越　隼
16:35	堤防植生管理への農薬使用の試行について	河川総合研究所　上席研究員　山本　嘉昭
17:00	学校教育に貢献する河川・水の学び　～流域概念の持つ役割～	河川・水教育センター　主任研究員　菅原　一成 河川・水教育センター　研究員　佐藤　友香
17:25	閉会・挨拶	河川総合研究所　所長　天野　邦彦
17:30	意見交換会	※意見交換会に参加ご希望方は、会費としてお一人様 2,000 円のご負担をお願いします。

申込み　下記、URL または 右図 QR コードの「専用受付フォーム」よりお申込みください。
https://forms.office.com/r/xqffxPABnK

定　員　先着 300 名　※定員になり次第、受付を終了いたします。

締　切　令和 6 年 10 月 25 日（金）

問合せ　河川財団研究発表会　事務局　　担当：森永・齋藤
E-mail：kasen-entry@kasen.or.jp

個人情報について
個人情報は、本研究発表会の連絡・次回研究発表会のご案内以外には使用いたしません。